

期末テストに向けて

6月は寒暖の差が激しい季節です。「栄養のバランス・積極的な気分転換・十分な睡眠」に気をつけて、健康管理をしましょう。入学して2ヶ月たち、高校生活にも慣れてきて、学習や部活動も本格的になり、スケジュール管理がうまくいかず悩んで疲れている人もいます。まずは、授業を大切にすることと、できることを手帳に書き出してみることも大切です。

高校は、成績や出席が一定の要件を満たさなければ進級できません。1科目でも1年間の授業数の2割以上の欠席をしたり、成績が30点未満であったりすると2年生に進級するのが難しくなります。

例えば、一週間に1回授業がある科目（保健・総合的な探究の時間など）であれば、7回を超えて休むと進級に必要な授業数を満たしていないことになります。（入院などの正当な理由があれば、会議を経て補充授業が受けられる場合もあります。）

成績は右の表のように、3つの観点で評価しており、知識・技能：思考力・判断力・表現力：主体的に学ぶ態度が4：4：2の割合で点数化され、100点に換算されて成績となります。1学期は期末考査だけでなく、プリントや提出物、小テストなども成績に入ります。テストにむけて一夜漬けでなく、計画的にステップを踏んでいきましょう。

ただ、点数を上げるというだけでなく、1つ1つ理解して丁寧に解く、繰り返して覚える、解説を読んでわからなければ質問する、という地道なことが1年のうちから求められます。

悩みがあれば抱え込まずに、担任や、自分が話しやすい先生、家族、カウンセラーに相談してみましょう。思い通りにならないこともあるかもしれませんが、自分を見つめて挑戦していくことで、成長につながります。受験は最後は学力だけでなく、持続力・忍耐力・集中力、周りの人を思いやりお互いを支え合う力などが重要となってきます。

(1年2組担任池田陽子)

《6月の主な行事》

2日(月) 特進課外(英) 4日(水) 教育実習生との座談会 9日(月) 特進課外(数)
10日(火)～19日(木) 学習強化週間 17日(火)～20日(金) 1学期考査 20日(金) 壮行会・避難訓練 23日(月) 特進課外(数) 28日(土) ベネッセ総合学力テスト 30日(月) 特進課外(英)

◎スマホケータイ安全教室

5月20日(火)にKDDIの沼本氏を招き、「スマホケータイ安全教室～情報モラル啓発講演会」が行われました。トラブルを防ぐには、無断で投稿しないことや立ち止まって考えることが大切です。ネット依存を防ぐには、ルールやマナーを守り利用をしっかりとコントロールし、リアルの世界も大切にすることが大切だと学びました。闇バイトや特殊詐欺の危険についても話がありました。甘い話は信用してはいけません。もし、トラブルが起きたら、一人で悩まず身近な大人や警察に相談することです。

家庭でもスマホの利用について親子でルールをつくり、フィルタリングを設定しましょう。



◎学習の評価について

定期考査、提出物・作品、実技及び平素の学習状況などをもとに、教科・科目の目標や内容に照らし合わせて、その実現状況を「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点ごとに、以下の3段階で学習評価を行います。

A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
-------------	---------------	------------

その上で、観点ごとの学習評価を総括し、下表に示す100点法の成績評価(評点)と5段階評価(評定)を合わせて示します。

評点	0～29	30～44	45～64	65～79	80～100
評定	1	2	3	4	5

卒業後の進路には、3年間の「評定平均値」が大学等の出願資格や各種奨学金の貸与の要件に大きく関わっています。

～新入生の手引きより～

◎合唱コンクールについて

今年度も合唱コンクールが7月3日(木)に「ゆめはっと」で開催されます。各クラス練習に励み曲を仕上げているようです。皆で協力して底力を出せるようにしましょう！各クラスの曲目は以下の通りです。

1組：瑠璃色の地球	2組：COSMOS	3組：旅路	4組：空も飛べるはず
-----------	-----------	-------	------------

(裏面に続く)

◎実習生についてのインタビュー

5月19日から実習生が来てくださいました。以下インタビュー項目です。

- ①教員を目指した理由・担当教科を選んだ理由 ②大学について ③高校時代の勉強と部活について ④どんな先生になりたいか ⑤原高生に一言

末永 彩先生 教科：美術 大学名：東北芸術工科大学デザイン工学部 (2組担当)

① 高校時代の美術の先生から受けた影響で教員を目指しました。美術を選んだ理由は自分が没頭するほど好きだったからです。

② グラフィックデザイン学科は、デザイン工学部でありながら、芸術的な感性や表現力も大切にしている、技術だけでなく、アイデアや創造力も学びます。タイポグラフィや色、レイアウトなどの基本を学びながら、実際の課題に取り組み、見る人に伝わるデザインを考えています。

③ 時間をしっかり分けて、自分の一日の予定を把握することが大切だと思います。そのため、自分の予定表を作って空き時間を確保したり、自分だけの時間割を作ってみてください。

④ 生徒の居場所になれるような親しみやすく、信頼される先生になりたいです。

⑤ 新聞やニュースを見る習慣をつけて欲しいです。入試、就活などの面接や小論文で聞かれることが多いです。デジタル版もあるため、スマホで手軽に見ることができます。1日1回で良いので見てください。



増子 結衣先生 教科：保健体育 大学名：日本体育大学体育学部 (1組担当)

① 私が教員を目指した理由は、両親が共に教員であり、幼い頃から「教員」という職業が身近で憧れの存在だったからです。教員という仕事は大変なことも多い一方で、子どもたちの成長に関われるやりがいの大きさに魅力を感じ、自分もその道を志しました。

② 大学では同じ夢を持つ仲間と切磋琢磨し学べることが1番の特徴。専門的な知識を高いレベルで学ぶことができ、自分の将来に向けて実践的な力を身につけられるのが魅力的です。高校生も楽しかったけれど、大学生はそれ以上にもっと楽しいことがたくさん！

③ 勉強と部活の両立は簡単ではなく、部活で疲れて帰宅後はすぐに寝てしまうことも多々ありました。対策として、夜は無理せずに早く寝て、朝早く起きて勉強するように工夫していました。日々の授業をしっかり理解することを意識し、限られた時間の中でも効率よく学ぶことを大切にしていました。

④ 健康や運動に関する専門的な知識を生かし、心と体の両面から子どもたちを支え、信頼され、明るく温かい教師。

⑤ 高校3年間はあっという間に終わってしまうから、1日1日を大切に自分の「好き」や「得意」を見つけて可能性を広げて下さい。部活も勉強も全力で楽しんで、取り組んでください。



高野 豪先生 教科：保健体育 大学名：日本体育大学体育学部 (4組担当)

① 私が中学生の時に会った恩師がきっかけです。恩師に全国大会や国際大会に連れて行ってもらい濃い体験をしたので私も生徒達を大きな舞台に立たせてあげたいと思いました。

② 日本体育大学という体育の学校に通っています。日本体育大学は、授業の6割は実技の大学です。隣の席にオリンピックに出ている子がいたり、前の席に甲子園に出ていた人がいたり、スポーツのスペシャリストがたくさんいる学校です。

③ 私は野球部に所属していました。夜8時くらいまで部活をしていたので、勉強は学校の授業を集中して受けるようにしていました。よく授業中に目を閉じてしまうことがありましたが、授業をしっかりと受けたいという気持ちはあったので、目を閉じながらも顔は先生の方を向いて授業を受けていました。

④ 私の授業で体育が好きな子を増やせるような先生になりたいです。体育の授業を通してたくさんの運動のメリットを伝えていきたいです。

⑤ 勉強、勉強で辛い人もいます。しかし、高校生活は人生で一度しかありません。もっと自分の色を出して、勉強も部活も恋愛も全力で取り組んでいきましょう！私は原高生を全力で応援しております！

